

新文化

(3) 2012年(平成24年)4月26日

光和コンピ ューター 青森に事業所を開設

光和コンピューターは5月1日、青森県と青森市から誘致企業認定を受け、市内の西部工業団地に青森事業所を開設、出版物の「電子書籍化事業」などの新規事業をスタートさせる。出版デジタル機構の設立を受け、出版社の電子書籍事業の将来性を見通して新規事業に乗りだす。

青森県・市から誘致企業認定 「電子書籍化事業」など開始



調印後に握手する柴崎社長(左から2番目)と三村知事(左)、寺川専務、鹿内市長(右)

にサインした。誘致企業度5300万円を目標として84社目、IT企業では6社目、出版関連企業では初進出となる。

柴崎社長は青森県に進出した理由について「出版業界はいま、転換期にあり、電子書籍が今後の成長のカギと目されている。青森県人の誠実さ、実直さは広く知られ、人的資源に注目した。そこで青森の地を電子書籍制作の拠点に

初年度は10人の従業員を地元から採用、売上高は初年にサインした。誘致企業度5300万円を目標として84社目、IT企業では6社目、出版関連企業では初進出となる。

選んだ。県、市とともに発展したい」と語る。三村知事は「青森のエンジニアが育成されることを」と要望し、鹿内市長は「青森は陸海空で至便な立地。地域、誘致企業の発展のため、最大限の努力をしたい」と歓迎の意を述べた。

青森事業所の所長を兼務する同社の寺川光男専務は業務内容を説明。デジタルデータの電子書籍ファイルへの変換や、電子書籍のストアアプリシステムを提供する「電子書籍化事業」のほか、ICTタグを活用した企業の勤怠管理や児童の登下校通知システムなどの「RFIDソリューション」

誘致企業に認定されるなど、従業員の給与助成や電気・ガス・水道などインフラ面が3年間無償となるなどのメリットがある。

STEM開発」、近刊予約端末「Pit SPOT」など「店頭多機能端末の開発・製造・販売・保守業務」が3本柱となる。同社は2010年10月に青森市に進出し、マーケティング事業部の支所を設置。通販のニッセンやスクロール、アパレルのユニクロなどのオンライン通販用の商品撮影業務などを請け負ってきた。その過程で人材の質面で手応えを得ており、本格進出を決めた。